



**第32期（2016年12月期） 第3四半期  
決算補足説明資料**

**2016年11月2日  
サイバネットシステム株式会社**

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

## 略式記号について

15.12/3Q	2015年 12 月期 第3 四半期期間
15.12/3Q累計	2015年 12 月期 第3 四半期累計期間
15.12	2015年 12 月期 通期
16.12/3Q	2016年 12 月期 第3 四半期期間
16.12/3Q累計	2016年 12 月期 第3 四半期累計期間
16.12E	2016年 12 月期 通期予想

## ◆ 2016年12月期 第3四半期 決算の概況

[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因（前年同期比較）	6
[連結]営業利益の増減要因（計画比較）	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因（前年同期比較）	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因（前年同期比較）	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22

## ◆ 2016年12月期 業績予想

[連結]当期の業績予想	25
[連結]当期の配当予想	26

## ◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております。



# 2016年12月期 第3四半期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 〔連結〕業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

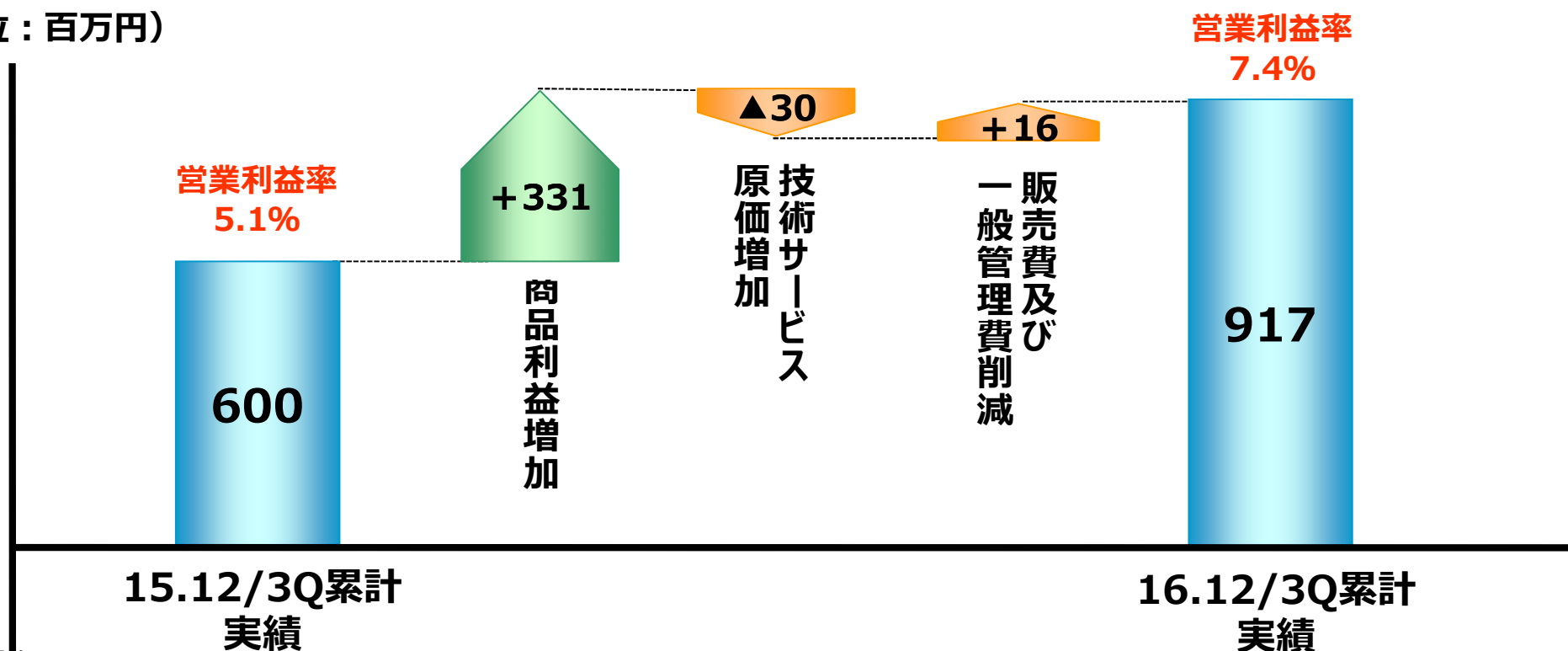
	16.12/3Q累計	15.12/3Q累計			16.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	12,333	11,792	+ 541	104.6%	12,549	▲ 215	98.3%
営業利益	917	600	+ 317	152.9%	614	+ 303	149.5%
営業利益率	7.4%	5.1%	+ 2.3P		4.9%	+ 2.5P	
経常利益	923	706	+ 217	130.8%	688	+ 235	134.3%
経常利益率	7.5%	6.0%	+ 1.5P		5.5%	+ 2.0P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	479	264	+ 214	181.2%	301	+ 178	159.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	3.9%	2.2%	+ 1.7P		2.4%	+ 1.5P	
のれん償却前営業利益	1,167	886	+ 281	131.7%	896	+ 271	130.2%
のれん償却前営業利益率	9.5%	7.5%	+ 2.0P		7.1%	+ 2.4P	

※P：ポイント

※「四半期純利益」から「親会社株主に帰属する四半期純利益」に名称を変更しております

# [連結] 営業利益の増減要因 (前年同期比較)

(単位：百万円)



## 前期比増減要因

### ○商品利益の主な増減加要因

為替換算の影響による減少額▲305百万円・売上高増加による増加額+610百万円

国内売上高増加：マルチフィジックス解析ツール・光学設計分野・モデルベース開発エンジニアリングサービス・セキュリティ関連ソリューション

海外売上高増加：カナダの開発子会社・台湾の販売子会社

### ○技術サービス原価・販売費及び一般管理費の主な増減要因

為替換算の影響による経費減少額▲330百万円・採用拡大による人件費増加額+301百万円

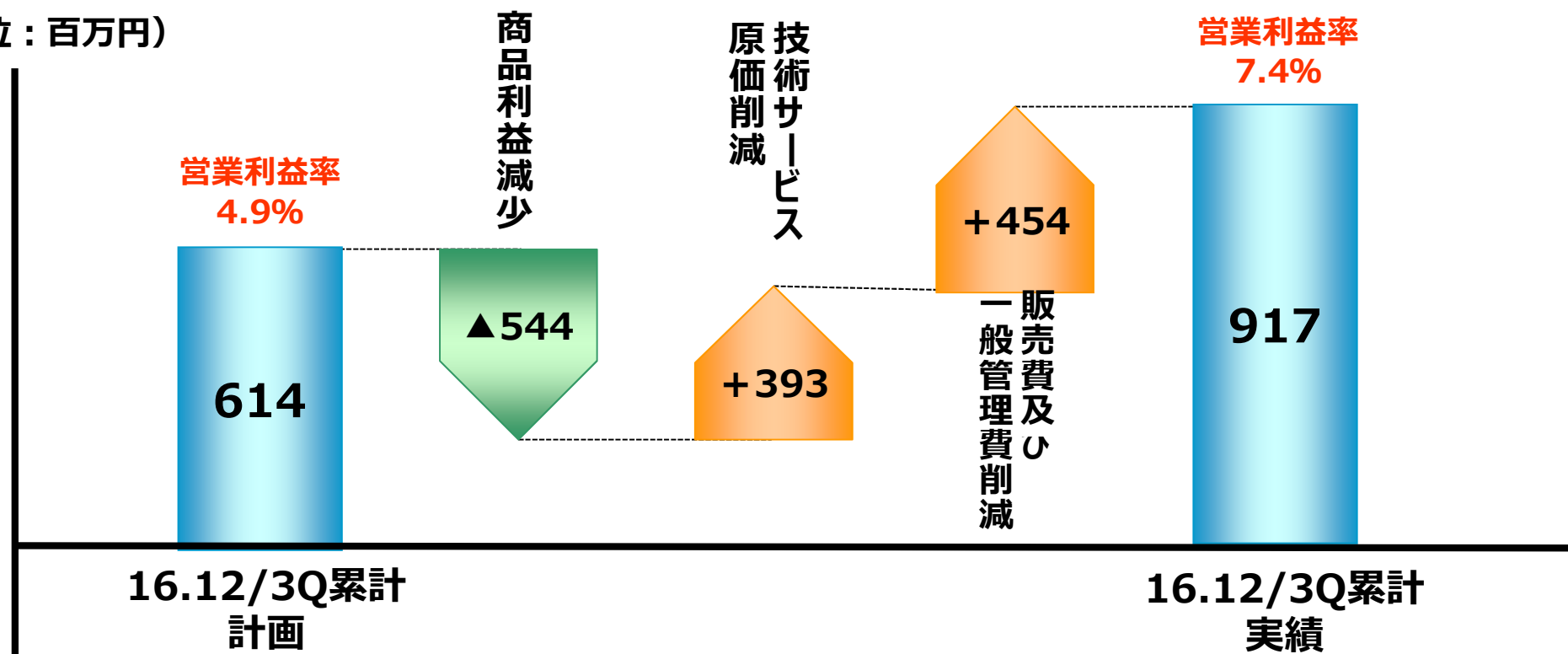
### ○営業利益の主な増減要因

為替換算により商品利益は減少しておりますが、経費も同様に減少していることから、為替換算による営業利益への影響は+24百万円となっております。

売上高増加による商品利益の増加が、営業利益の主な増加要因となっております。

# [連結] 営業利益の増減要因 (計画比較)

(単位：百万円)



## 計画比増減要因

- 商品利益の主な増減要因  
為替換算の影響による減少額▲318百万円、原価率上昇等による減少額▲225百万円
- 技術サービス原価・販売費及び一般管理費の主な増減要因  
為替換算の影響による経費減少額▲322百万円、採用未達による人件費減少額▲136百万円、経費減少額▲388百万円
- 営業利益の主な増減要因  
為替換算により商品利益は減少しておりますが、経費も同様に減少していることから、為替換算による営業利益への影響は+4百万円となっております。  
原価率が上昇したことにより商品利益は減少しましたが、経費が減少したことにより営業利益は増加しております。

# [連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	16.12/3Q	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>14,857</b>	<b>15,251</b>	<b>394</b>
現金及び預金	2,755	2,635	▲ 119
受取手形及び売掛金	3,701	3,719	18
有価証券	3,800	4,500	699 ①
短期貸付金	3,011	3,036	25
その他	1,588	1,358	▲ 230
<b>固定資産</b>	<b>4,028</b>	<b>3,568</b>	<b>▲ 459</b>
有形固定資産	320	323	3
無形固定資産	2,854	2,473	▲ 380 ②
投資その他の資産	853	771	▲ 82
<b>資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>18,820</b>	<b>▲ 65</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,175</b>	<b>4,469</b>	<b>293</b>
買掛金	1,027	1,276	248
未払法人税等	132	239	107
前受金	1,996	1,886	▲ 109
賞与引当金	282	226	▲ 56
その他	735	840	104
<b>固定負債</b>	<b>1,150</b>	<b>1,201</b>	<b>51</b>
退職給付に係る負債	1,090	1,146	56
その他	60	54	▲ 5
<b>負債合計</b>	<b>5,325</b>	<b>5,670</b>	<b>345</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,560</b>	<b>13,149</b>	<b>▲ 410</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>18,820</b>	<b>▲ 65</b>

## 前期末差増減要因

- ①有価証券（前期末差 + 699百万円）  
投資額の増加
- ②のれん（前期末差 ▲521百万円）  
償却▲249百万円及び為替換算▲271百万円  
により減少



# 〔連結〕キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12/3Q累計	16.12/3Q累計	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	544	1,428	883
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,345	472	▲ 872
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 479	▲ 418	60
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 44	▲ 91	▲ 47
現金及び現金同等物の増減額	1,366	1,389	23
現金及び現金同等物の期首残高	4,239	5,664	1,424
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>5,606</b>	<b>7,054</b>	<b>1,448</b>

## 前年同期比増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
法人税等の支払額の減少等によりプラス
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有価証券の償還による収入の減少等によりマイナス
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金支出の減少等によりプラス

# [連結] 四半期売上高の推移

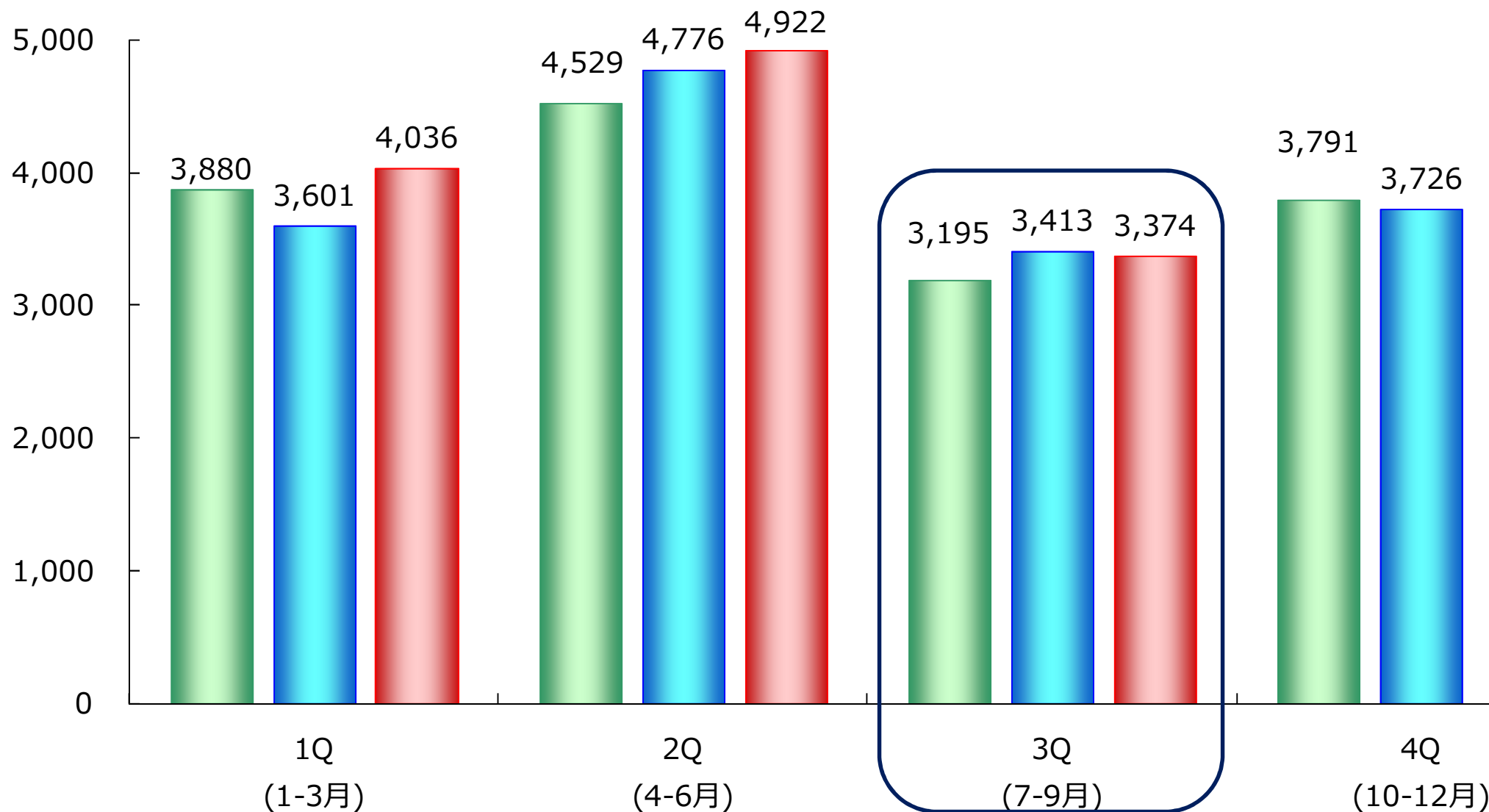
CYBERNET

緑：14.12

青：15.12

赤：16.12

(単位：百万円)



# 〔連結〕セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

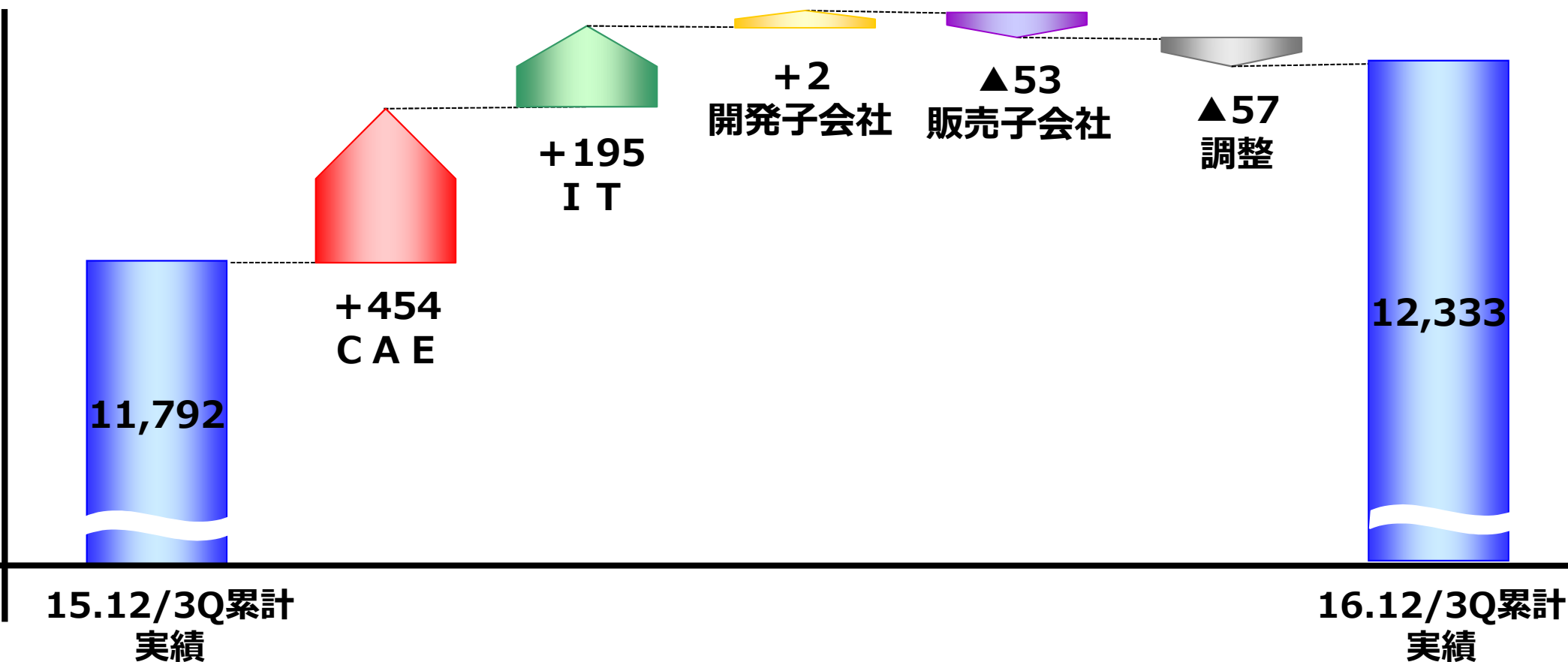
	15.12/3Q累計	16.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比
<b>売上高 合計</b>	<b>11,792</b>	<b>12,333</b>	<b>+ 541</b>	<b>104.6%</b>
CAEソリューションサービス事業	9,794	10,176	+ 381	103.9%
ITソリューションサービス事業	2,050	2,246	+ 195	109.5%
調整額	▲ 53	▲ 89	▲ 35	—
<b>セグメント利益（営業利益） 合計</b>	<b>600</b>	<b>917</b>	<b>+ 317</b>	<b>152.9%</b>
CAEソリューションサービス事業	1,460	1,818	+ 357	124.5%
ITソリューションサービス事業	213	286	+ 73	134.2%
調整額	▲ 1,074	▲ 1,187	▲ 113	—

- 注) 1. 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. CAEソリューションサービス事業はCAE、開発子会社、販売子会社の合計です。
3. 当期より、「CAEソリューションサービス事業」の一部を組織変更に伴い「ITソリューションサービス事業」に変更しております。なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

# [連結] 事業別売上高の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)

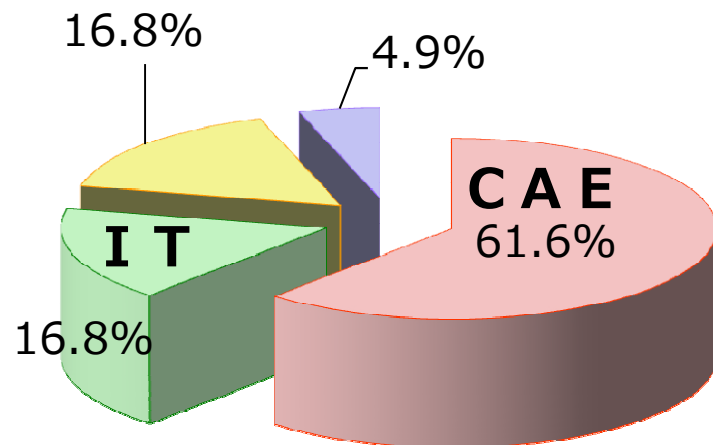


注) 各事業の分類は以下となります。

- CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。
- ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- 開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社 3 社の合計数値となります。
- 販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社 2 社の合計数値となります。
- 調整とは、連結調整とセグメント間調整の合計数値となります。

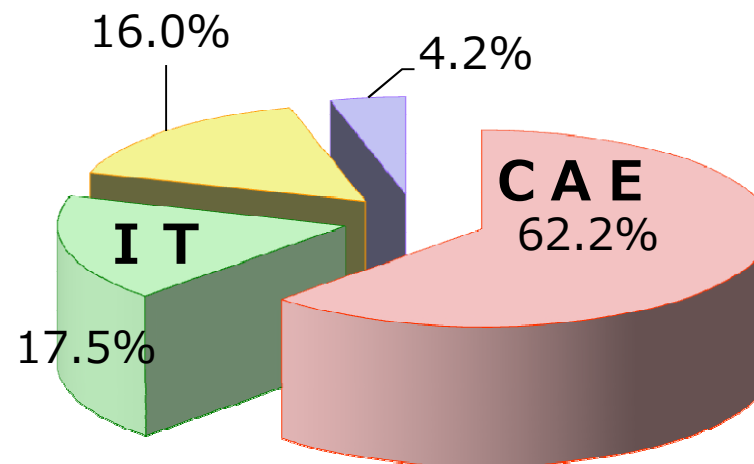
# [連結] 事業別売上高の構成比

開発子会社 販売子会社



連結売上高  
11,792百万円  
15.12/3Q累計

開発子会社 販売子会社



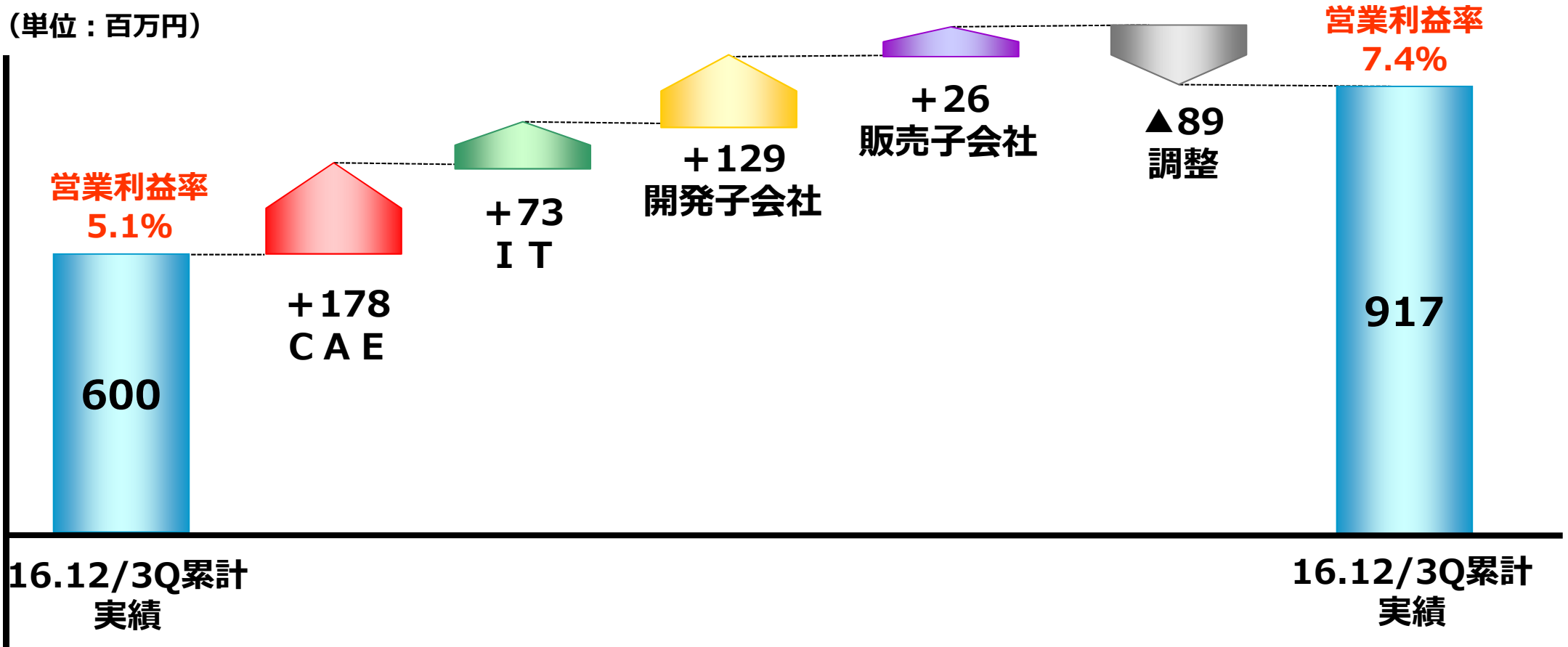
連結売上高  
12,333百万円  
16.12/3Q累計

注) 上記数値は、連結調整及びセグメント間調整を除いた構成比です。  
各事業の分類は前ページと同様となります。

# [連結] 事業別営業利益の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。  
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。  
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

# 【個別】ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

<p><b>M C A E 分野</b></p>	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、大口顧客向けの包括契約や大手製造業及び教育・官公庁からの受注により、堅調に推移。保守契約の更新は、機械・精密機器業界からの受注が伸びたため、好調に推移。エンジニアリングサービスは、自動車関連業界からの受注が増加したことにより、好調に推移。</p>
<p><b>光学設計分野</b></p>	<p>主力商品である照明設計解析ソフトウェアは、車載及び産業用途への展開が進んだものの、電気機器業界からの受注が落ち込み、新規ライセンス販売は、低調に推移。保守契約の更新は、機械・精密機器業界を中心に堅調に推移。光学設計評価プログラムの新規ライセンス販売は、機械・精密機器業界からの受注により好調に推移し、保守契約の更新は、堅調に推移。自動車用照明設計プラットフォームは、自動車関連業界への導入が進捗している。</p>
<p><b>E D A 分野</b></p>	<p>電子回路基板設計ソリューションは、取扱商品の変更に伴う立ち上げが徐々に進み、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに、当初期待した計画には至らないものの、実績を積み重ねている。プリント基板（PCB）エンジニアリングサービスは、既存顧客からの受注が好調に推移。</p>
<p><b>M B D 分野</b></p>	<p>当社グループ製品である1D CAEツールの新規ライセンス販売は、電気機器業界及び自動車関連業界からの受注により好調に推移し、保守契約の更新も堅調に推移。エンジニアリングサービスは、自動車関連業界からの自動運転技術などに関する受託開発・コンサルティング及び電気機器業界からの受注により、好調に推移。</p>
<p><b>テスト・計測分野</b></p>	<p>当社が開発したFPD（Flat Panel Display）自動検査システムは、電機メーカーからの大型受注があったものの、前年の中国向け大型案件分をカバーするには至らず。</p>
<p><b>その他分野</b></p>	<p>当社グループ製品である最適設計支援ツールは、新規ライセンス販売は、電気機器業界からの受注が落ち込み、低調に推移したが、保守契約の更新は、好調に推移。自動化・最適化などへの取り組みや開発環境構築の検討は進んでおり、引き合いは増加傾向。3次元公差マネジメントツールは、市場開拓が計画通りに進まず低調に推移。</p>

# 【個別】ソリューション別の概況

## ITソリューションサービス

<b>ITソリューション分野</b>	主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションの新規ライセンス販売は、クラウドモデルの新規受注等により、好調に推移。また、保守契約の更新も、月額課金モデル、OEMモデルなどの成長により好調に推移。ディスク暗号化ソフトウェアは、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。また、クラウド環境の普及に伴い、クラウドサービスは好調に推移し、クラウド型シングルサインオン・アクセスコントロールの新規ライセンス販売も好調に推移。
<b>データソリューション分野</b>	イノベーション支援ソリューションの新規ライセンス販売は、大手製造業者からの大型受注はあったものの、機械・精密機器業界の受注が落ち込み、低調に推移したが、保守契約の更新は、好調に推移。医療可視化分野は、教育・官公庁及び中国企業からの受注により、好調に推移。AR（Augmented Reality：拡張現実）分野は、前年開始した自社ARサービスの立ち上りが順調で、引き合いが増加。

(※) 2016年度において組織再編を行った結果、ビッグデータ分野と可視化分野を統合してデータソリューション分野とし、セグメントをCAEソリューションサービス事業からITソリューションサービス事業に変更しております。



# 【個別】応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位：百万円)

	15.12/3Q		16.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,144	44.4%	1,344	48.9%	+ 199	117.4%
光学設計	478	18.5%	459	16.7%	▲ 18	96.1%
EDA	76	3.0%	103	3.8%	+ 27	135.3%
MBD	164	6.4%	178	6.5%	+ 13	108.5%
テスト・計測	15	0.6%	2	0.1%	▲ 12	13.8%
その他	86	3.4%	65	2.4%	▲ 21	75.4%
CAE合計	1,965	76.2%	2,153	78.2%	+ 187	109.5%
ITソリューション	366	14.2%	428	15.6%	+ 61	116.7%
データソリューション	246	9.6%	170	6.2%	▲ 76	69.0%
IT合計	613	23.8%	598	21.8%	▲ 15	97.5%
合計	2,579	100.0%	2,751	100.0%	+ 172	106.7%

# 【個別】 応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期累計>

(単位：百万円)

	15.12/3Q累計		16.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	4,198	44.1%	4,410	43.5%	+ 211	105.0%
光学設計	2,188	23.0%	2,302	22.7%	+ 114	105.2%
EDA	241	2.5%	300	3.0%	+ 58	124.1%
MBD	461	4.8%	582	5.7%	+ 120	126.1%
テスト・計測	119	1.3%	53	0.5%	▲ 65	44.8%
その他	253	2.7%	233	2.3%	▲ 20	92.0%
CAE合計	7,462	78.4%	7,881	77.8%	+ 418	105.6%
ITソリューション	1,346	14.1%	1,534	15.1%	+ 188	114.0%
データソリューション	713	7.5%	720	7.1%	+ 7	101.0%
IT合計	2,059	21.6%	2,254	22.2%	+ 195	109.5%
合計	9,522	100.0%	10,136	100.0%	+ 614	106.5%

# 〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜第3四半期＞

(単位：百万円)

	15.12/3Q		16.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	872	33.8%	738	26.8%	▲ 133	84.7%
機械・精密機器	371	14.4%	464	16.9%	+ 92	125.0%
輸送用機器	358	13.9%	363	13.2%	+ 4	101.3%
その他製造業	380	14.7%	398	14.5%	+ 18	104.7%
教育・官公庁	184	7.1%	235	8.5%	+ 50	127.6%
情報・通信	132	5.2%	160	5.8%	+ 27	120.7%
その他	279	10.8%	391	14.2%	+ 111	140.1%
<b>合計</b>	<b>2,579</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,751</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 172</b>	<b>106.7%</b>

# 〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜第3四半期累計＞

(単位：百万円)

	15.12/3Q累計		16.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	3,337	35.1%	3,273	32.3%	▲ 64	98.1%
機械・精密機器	1,518	15.9%	1,722	17.0%	+ 204	113.4%
輸送用機器	1,090	11.5%	1,200	11.8%	+ 109	110.1%
その他製造業	1,007	10.6%	1,260	12.4%	+ 253	125.1%
教育・官公庁	890	9.4%	884	8.7%	▲ 5	99.3%
情報・通信	583	6.1%	626	6.2%	+ 42	107.2%
その他	1,092	11.5%	1,168	11.5%	+ 75	106.9%
<b>合計</b>	<b>9,522</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,136</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 614</b>	<b>106.5%</b>

# 【個別】ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位：百万円)

	15.12/3Q		16.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	989	42.8%	1,025	41.4%	+ 36	103.7%
更新契約	1,325	57.2%	1,453	58.6%	+ 128	109.7%
合計	2,315	100.0%	2,479	100.0%	+ 164	107.1%

<第3四半期累計>

(単位：百万円)

	15.12/3Q累計		16.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	3,164	36.5%	3,268	35.7%	+ 103	103.3%
更新契約	5,516	63.5%	5,892	64.3%	+ 375	106.8%
合計	8,681	100.0%	9,161	100.0%	+ 479	105.5%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

# 〔連結〕 海外子会社の状況（開発子会社）

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>123.2%</b>	<b>99.6%</b>	<b>99.6%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>105.3%</b>	<b>90.1%</b>	<b>91.4%</b>
状況	北米において大型のOEM案件を受注したこともあり、好調に推移。	最適設計支援ツールの販売が、北米においては堅調に推移したが、欧州及びアジアは低調に推移。	3次元公差マネジメントツールの販売が、主力の北米においては堅調に推移したが、欧州及びアジアは低調に推移。

# 〔連結〕 海外子会社の状況（販売子会社）

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>83.4%</b>	<b>135.7%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>72.7%</b>	<b>119.6%</b>
状況	当社グループ製品であるSTEM（※）コンピューティング・プラットフォームの販売は、堅調に推移したが、主力の光学系ソフトウェアの販売は、低調に推移。	主力商品である光学系ソフトウェア及び他製品の販売が好調に推移。

（※） STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics（科学、技術、工学、数学）という総合的な分野の総称

# 2016年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**



# [連結] 当期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	通期			
	16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	16,800	15,518	+1,281	108.3%
営業利益	950	851	+98	111.5%
営業利益率	5.7%	5.5%	+0.2P	
経常利益	1,048	1,003	+44	104.5%
経常利益率	6.2%	6.5%	▲0.3P	
親会社株主に帰属する 当期純利益	461	463	▲2	99.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	2.7%	3.0%	▲0.3P	
のれん償却前営業利益	1,316	1,228	+87	107.1%
のれん償却前営業利益率	7.8%	7.9%	▲0.1P	

※P：ポイント

# 〔連結〕 当期の配当予想

CYBERNET

(単位：円)

	15.12	16.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	実績	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.50	6.50	13.00
1株当たり当期純利益	14.87	16.16	—	14.80
配当性向	92.8%	—	—	87.8%
(参考) 純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

## 配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定しております。

- ・配当性向50%
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%

## サイバネット独自の価値の提供

- 1D CAE + 3D CAE MDS (※)
- CAE + テスト・計測ソリューションの拡大MDS (※)

連結売上高（連結売上高に占める割合）

[2014年] 127億円（82.7%） ⇒ [2020年] 259億円（86.4%）

※ MDS: マルチドメインソリューション

## 自動車関連分野に注力

- 国内売上高（国内売上高に占める割合）

[2014年] 15億円（12%） ⇒ [2020年] 約50億円（25%）

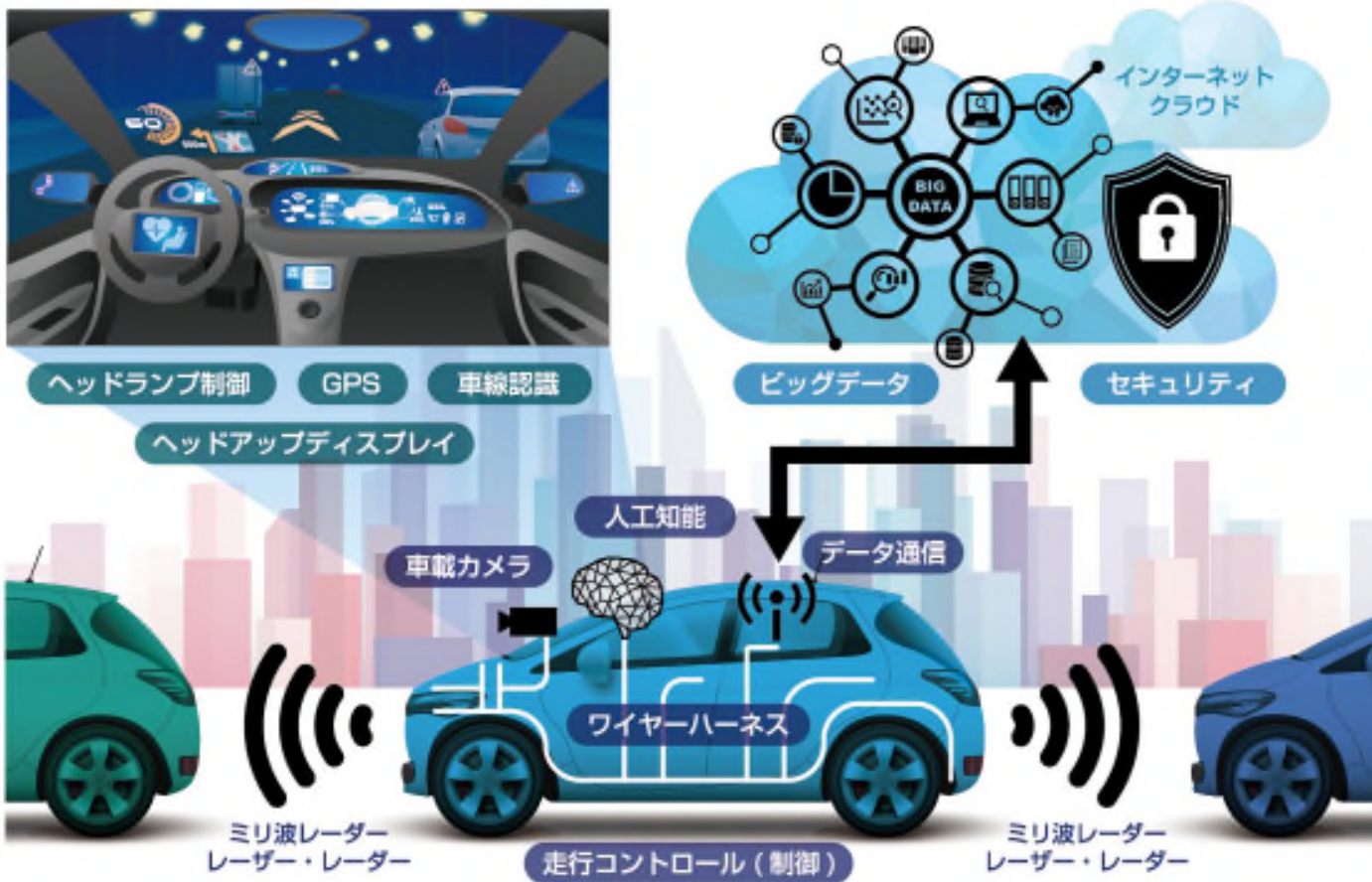
## パートナーとの連携の強化

- グローバル&ローカルに販売/サポート体制構築
- OEM提供の推進

# 自動車開発における当社技術活用例

CYBERNET

## 自動運転に活かされるCAE



## 研究開発を革新するCAE



当社AR技術（cybARnet）を体験！  
スマホから簡単に当社の会社紹介ムービーをご覧ください！

- ① AppStore、もしくはGoogle Play で「cybARnet」を検索（下記赤いマークが目印）
- ② アプリを起動し、画面右上のQRコード読み取りボタンをタップ
- ③ 下記QRコードを読み取り
- ④ 下記赤いマークをカメラで写すと、仮想空間に紹介ムービーが現れます！





# 参考資料

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 会社概況（2016年9月30日現在）

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社（東証第一部 4312）  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 594名  
個別 360名
- ◆ 事業内容 : C A Eソリューション及び I Tソリューションサービスの提供、  
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）  
Noesis Solutions NV（ベルギー）  
CYBERNET SYSTEMS（SHANGHAI）CO.,LTD.（中国）  
Sigmetrix, L.L.C.（米国）  
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC.（特定目的会社）  
Cybernet Systems Holdings U.S. Inc.（特定目的会社）  
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.（台湾）

C A Eとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

# 【個別】業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	16.12/3Q累計	15.12/3Q累計			16.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	10,136	9,522	+ 614	106.5%	9,992	+ 144	101.4%
営業利益	1,035	891	+ 143	116.1%	946	+ 89	109.4%
営業利益率	10.2%	9.4%	+ 0.8P		9.5%	+ 0.7P	
経常利益	990	922	+ 68	107.4%	946	+ 44	104.7%
経常利益率	9.8%	9.7%	+ 0.1P		9.5%	+ 0.3P	
四半期純利益	574	501	+ 73	114.6%	545	+ 29	105.5%
四半期純利益率	5.7%	5.3%	+ 0.4P		5.5%	+ 0.2P	

※P：ポイント



# 【個別】 当期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	通期			
	16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	13,155	12,331	+823	106.7%
営業利益	1,197	1,163	+33	102.9%
営業利益率	9.1%	9.4%	▲0.3P	
経常利益	1,197	1,197	▲0	99.9%
経常利益率	9.1%	9.7%	▲0.6P	
当期純利益	672	665	+6	101.0%
当期純利益率	5.1%	5.4%	▲0.3P	

業績予想について

※P：ポイント

16.12Eの業績予想における為替レートは110円/USDを想定したものであります。

## ■ 広報室

住 所                   〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地  
T E L                   03-5297-3066  
F A X                   03-5297-3609  
E - M A I L           irquery@cybernet.co.jp  
W e b サイト           http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。  
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。  
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。  
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。  
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**